

施策評価表(平成21年度実績評価と平成23年度方針)

作成日	平成 22 年 9 月 1 日
-----	-----------------

施策No.	18	施策名	地域産業の振興	21年度 施策位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 重点施策 <input type="checkbox"/> それ以外
施策統括課名	産業振興課	施策統括課長名	小山 輝男		
施策関連課名					

1. 施策の目的と成果実績

施策の目的 「対象」	対象指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績
東久留米市の特色(水と緑、特産物、人材) 事業者(農業者、商工業者)	事業所数(中小事業所)	事業所	2,533	2,638	2,638
	農業者数	人	1,001	1,001	1,001

施策の目的 「意図」	成果指標	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績
多くの人に知られ、経済活動に活かされる 事業の継続・発展や起業ができる	商業販売高	百万円	179,284	179,284	166,997
	工業出荷高	百万円	7,998	8,132	9,430
施策を通じて、東久留米市の良さを市内外に発信していくために、地域の資源を発掘し活用していく。市の良さを発信し続けるためには、緑豊かな環境を存続させ、農地の有用性を市民に理解してもらうこと、活気あるまちにするために中小企業者を応援していく必要がある。その指標としては市民の理解度があげられる。	市の良さ(地場産品)を理解している市民の割合	%	60.1(20年度調)	58.8(21年度調)	58.8(21年度調)
	市の良さ(水と緑)を理解している市民の割合	%	78.9(20年度調)	79.8(21年度調)	79.8(21年度調)
	地元農産物を積極的に購入している市民の割合	%	28.2(20年度調)	28.0(21年度調)	28.0(21年度調)
	必要としている資金を調達できた事業者数	件	65	116	81

成果指標の把握方法(引用資料、算定式など)	商業販売高(商業統計調査)、工業出荷高(工業統計調査) 市の良さ(地場産品等・水と緑)を理解している市民の割合、地元の農産物を積極的に購入している市民の割合(施策成果アンケート) 必要資金を調達できた事業者数(東久留米市資金融資決定台帳)
-----------------------	---

施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担	<p><b>市民の役割</b> 東久留米市の良さを発見したり、認識するために、どのような方策により進めるか、また、どのようにアピールするかなど、行政だけで議論・推進するのではなく、市民にも日々の生活や活動の中で目を向けていただきながら、積極的に参加していただく必要がある。</p> <p><b>行政の役割</b> 地域産業推進協議会などの取り組みにおいて、行政と関係団体と市民との連携を様々な形で試行している現時点では、行政が取り組みの核となって推進する必要がある。また、事業の実施にあたっては、産業団体・市民団体・市民等が主体的にそれぞれの役割を果たしながら成果があげられるよう、行政がコーディネーターの役割を担う必要がある。</p>
-------------------------	--

2. 施策成果の評価

施策成果の水準評価	<p>&lt;施策の成果水準評価&gt;</p> <p><input type="checkbox"/> 21年度目標を上回る実績だった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 21年度目標通りの実績だった</p> <p><input type="checkbox"/> 21年度目標を達成出来なかった</p> <p>根拠： 柳久保小麦を使った商品の販売、柳久保小麦の地域団体商標登録、梅ワインの製造販売、七福神めぐりなど地域ブランド事業の定着化、市商工会個別事業への支援、商店街振興事業への支援、中小企業資金融資事業の継続と不況対策として融資特例措置の実施など、地域産業に対する振興施策を進めてきた。 また、市民みんなのまつりでは、市内商工業・農業活動の集大成として広く市内外に東久留米の名を発信するイベントとして開催した。</p>	<p>①近隣との比較 近隣市の類似事業は各市独自の内容が多く、客観的に比較することは難しい。例として中小企業資金融資制度では融資利率、貸付限度額、補助率など各市様々となっている。</p> <p>②時系列比較 地域振興事業の検討を平成14年度にスタートし、平成15年度に地域産業振興会議、平成17年に地域産業振興委員会、20・21年度では地域産業推進協議会で進めてきているが、今後、企画途中になっている新たな地域ブランドの開発及び地域振興プロジェクトに取り組んでいく。</p> <p>③市民期待水準との比較 水と緑のまちづくりや活気あるまちづくりを進めることで、東久留米市の良さを改めて知っていただき、住み続けたいと言っていた数が増えることを目標に、期待にこたえる施策を展開していく。</p>	<p>貢献度の「高い」事務事業名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産業推進協議会運営事業</li> <li>・市民みんなのまつり(農業祭・商工祭)</li> <li>・独自ブランド商品開発事業</li> <li>・小口零細企業資金融資事業</li> <li>・中小企業資金融資事業</li> <li>・新・元気をいせ商店街事業</li> <li>・商店街活性化対策事業</li> <li>・生産緑地保全整備事業</li> <li>・農業とふれあう場確保事業</li> </ul>	<p>貢献度の「低い」事務事業名</p>
-----------	--	---	---	----------------------

3. 施策コストの実績と評価

施策トータルコスト	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	①時系列比較 21年度から実施した新規事業が1件あったが、魅力ある都市農業育成対策事業等が終了したことで、事業費が減っている。 ①近隣との比較 類似事業はあるものの内容は各市各様で、コストや成果水準を比較することは難しい。 ③納税者期待との比較 不況が長引く状況下において、中小企業者への支援や地域産業の振興事業を実施していくことは、市民の期待することで理解と評価は得られるものとする。 <施策事業費の中で上位1/3を占める事務事業名> ・小口零細企業資金融資事業
①本施策を構成する事務事業の数	本数	25	26	27	
②事業費(本施策を構成する全事務事業の事業費合計)	千円	176,697	186,424	141,719	
③人件費(本施策を構成する全事務事業の人件費合計)	千円	62,401	60,563	61,981	
④トータルコスト(②+③)	千円	239,098	246,987	203,700	
効率性指標	円				①時系列比較 21年度から実施した新規事業が1件あったが、魅力ある都市農業育成対策事業等が終了したことで、事業費が減っている。 ①近隣との比較 類似事業はあるものの内容は各市各様で、コストや成果水準を比較することは難しい。 ③納税者期待との比較 不況が長引く状況下において、中小企業者への支援や地域産業の振興事業を実施していくことは、市民の期待することで理解と評価は得られるものとする。 <施策事業費の中で上位1/3を占める事務事業名> ・小口零細企業資金融資事業
⑤事業費(定義式: ② / 市民人口)	円	1,540	1,625	1,234	
⑥人件費(定義式: ③ / 市民人口)	円	544	528	539	
⑦トータルコスト(定義式: ④ / 市民人口)	円	2,084	2,153	1,773	

4. 施策の方針設定に際しての前提条件

施策の成果向上における市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の強化 <input type="checkbox"/> 市の関与の現状維持 <input type="checkbox"/> 市の関与の軽減 * 行政と市民の役割分担含む 説明： 地域産業の振興策により、市内外に東久留米市の魅力や良さを知ってもらい、農産物や特産品の購買者を増やしていくために、市民・市民団体・産業団体・農業団体と行政との密接な連携や協同の関係が必要となる。 そこで、引き続き、市民や各団体に対する働きかけを強化していく必要があると考える。 また、進行する少子高齢化と、それに伴う税収減という厳しい状況下において、将来にわたって自立した都市経営を行うためにも、東久留米市が持つ個性・資源・魅力を広くアピールし、新たな財源を生み出す可能性のある産業の誘導など、戦略的なシティーセールス施策を行う必要がある。 このような面において、積極的な市の関与の強化を進めていく必要があると考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 対象の増加による施策事業費の増 <input type="checkbox"/> 対象の減少による施策事業費の減 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者の行政需要の増加による施策事業費の増 <input type="checkbox"/> 受益者の行政需要の減少による施策事業費の減 <input type="checkbox"/> 制度改訂等による施策事業費の増 <input type="checkbox"/> 制度改訂等による施策事業費の減 <input type="checkbox"/> 施策事業費の増減なし 説明： 地域産業推進協議会による産業振興の事業をさらに推進していくことや、地場産農産物を活用した新規ブランド商品の開発を進めていくことにより、事業費の増加は伴うものと考えている。 都市での環境保全に農地の役割を踏まえたうえで、その保全への支援に取り組むところである。そのうえで、市民が農業とふれあう機会を通じて、農地の役割を理解していただくきっかけづくりを進めていく。 商店街振興事業についても、経営に努力する商店等に対し、要望に応える支援事業を継続的に実施をしていくことが求められる。	<コスト削減不可事務事業名> (市の裁量ではコストを削減できない事務事業) ・農業委員会事務 ・農業委員会会長交際事業 ・東京都農業会議参画事業 ・北多摩地区農業委員会参画事業 平成21年度実績 9,962,000 円 ( 7 % ) コスト削減不可事務事業費の金額(比率) * 市条例は含まず 市の裁量でコストを削減できる事業費の金額(比率) 平成21年度実績 131,757,000 円 ( 93 % )
	施策コスト(事業費)の成り行き予測	施策コスト削減における市の裁量余地	(上記の表)

5. 全庁評価会議で示された施策の方向等

(優先施策の選定) 要検討課題	23年度の施策位置づけ : 優先施策 <input checked="" type="checkbox"/> それ以外 <input type="checkbox"/> 【主な意見】 ・地域産業振興への取り組みを進めていく。 ・「地域産業推進協議会」からの提言を予算に反映していく。 融資関連事業は、利子補給及び信用保証料補助である。 金融機関の融資利率変動などに影響を受けるが、中小企業支援に繋がることから、継続していく。 ・新・元気をだせ商店街事業は、東京都が商店街の振興を図る目的で実施している補助事業であるが、市も補助することにより中小企業の発展に繋がるため継続したい。
	①融資関連事業について ・現在の社会経済情勢上、重要と考える。 ・金融機関の融資利率の変動に伴い、利子補給の市負担分が影響を受ける。 ②「地域産業推進協議会」について ・新たに設置する「地域産業推進協議会」において、新ブランドの取り組みを提案する予定。

6. 平成23年度に向けた施策方針

施策をめぐめる環境・状況の変化(予測)	<国・都の方針並びに関係法規等の変化> ・長引く不況に伴い、国は平成22年2月15日より「景気対応緊急保証」の創設等の中小企業資金繰り対策を実施し、またセーフティネット貸付を平成22年度末まで延長・さらには拡充するなどの対策がとられ、東京都においては、国の緊急保証制度に対応した『経営緊急』融資を実施されている。 ・一方で、昨今の円高による日本経済全体への影響が円高が継続された場合の中小企業の収益をも圧迫しかねないとの予測も経済産業省の緊急ヒアリング結果より公表されている。 ・東久留米市における中小企業融資制度の特例措置の拡充等検討する状況になる可能性が十分にあり、今後の経済情勢を見極めていく必要がある。 <市の状況、市民ニーズの変化> ・地域産業推進事業の一環として、新たな事業と更なる東久留米ブランドの検討。 ・高齢化や相続等に伴う農地(生産緑地)の減少	成果とコストに関する方針 説明： ・まちを活性化させるため産業振興事業の検討や実施を地域産業推進協議会で進めてきており、梅ワインや柳久保小麦などの地域ブランドづくり、七福神めぐりなどシティーセールス事業を行って。22年度に新たに設置した地域産業推進協議会での農業・商工業・観光を推進する事業部の組織により新たな地域ブランドの開発・商店街活性化・観光事業等を展開していく。これらの事業を展開していくうえで事業内容によってはコストも成果も現状以上になることもある。 ・融資関連事業については、中小企業資金融資制度による資金面から支援策を継続的に実施する事により成果の向上を図る。 ・東京都の「新・元気をだせ商店街事業」及び「東久留米市商店街における商業等の活性化に関する条例」に基づき、市内商店街に対して活性化を図るための事業を展開していく。このため、事業によってはコストの増加もある。	<取り組むべき課題> * 5.全庁評価会議で示された施策の方向等の「要検討課題」を受けて ・中小企業資金融資制度における利子補給の負担割合等 ・地域産業推進協議会の運営 ・東京都「新・元気をだせ商店街事業」の活用、「東久留米市商店街における商業等の活性化に関する条例」に基づく支援策の検討 ・認定農業者に対する支援策としての「都市農業経営パワーアップ事業」を展開した場合の財政負担増 <対応方向> ・地域産業推進協議会の事業を、将来的に引き継げる事業組合またはNPO法人などの設立を検討
	取り組みの方向	取り組みの方向	取り組みの方向